

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-328277

(43) 公開日 平成11年(1999)11月30日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 19/00

識別記号

F I

G 0 6 F 15/26

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-129815

(22) 出願日 平成10年(1998) 5月13日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 服部 恵一

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

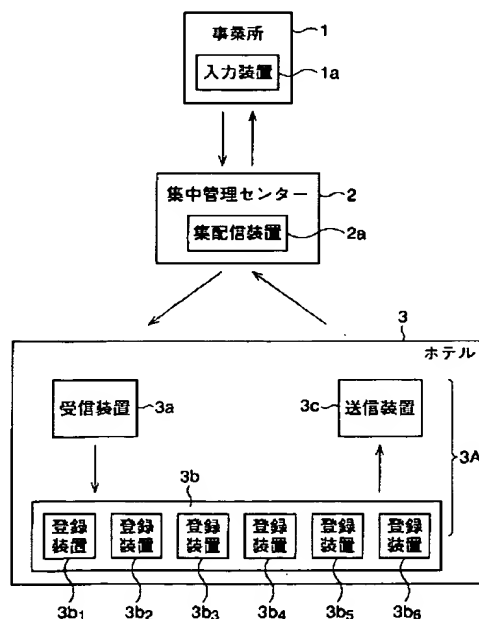
(74) 代理人 弁理士 小橋川 洋二

(54) 【発明の名称】 予約受付システム

(57) 【要約】

【課題】 予約受付窓口と予約相手先との間の予約登録・予約変更・連絡等の際に、システム全体の無駄を省いた予約受付システムを提供する。

【解決手段】 予約受付窓口（事業所）1に設置され、予約に関するデータの入出力を行う端末機1aと、予約の相手先（ホテル）3に設置され、当該相手先における予約に関するデータの予約判断・送受信・登録を含む処理を行う予約判断処理装置3Aと、前記端末機と予約判断処理装置との間における予約に関するデータの集配を行う集配信装置2aとをオンラインで接続する。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 予約に関するデータの入出力を行う端末機と、

予約の相手先に設置され、当該相手先における予約に関するデータの予約判断・送受信・登録を含む処理を行う予約判断処理装置と、

前記端末機と予約判断処理装置との間に設置され、該端末機と予約判断処理装置との間における予約に関するデータの集配を行う集配信装置とを備えたことを特徴とする予約受付システム。

【請求項 2】 前記予約判断処理装置は、配信された予約に関するデータの可否判定・編集・登録を含む処理を行うことを特徴とする請求項 1 記載の予約受付システム。

【請求項 3】 前記予約判断処理装置は、配信された予約に関するデータの二重登録を防止する二重登録防止手段を備えたこととする請求項 1 または請求項 2 記載の予約受付システム。

【請求項 4】 前記予約判断処理装置は、前記端末機からの直接入力指示に応じて登録内容を変更可能にしたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の予約受付システム。

【請求項 5】 前記予約判断処理装置の設置場所は、グループを構成するホテルであることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の予約受付システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、予約受付システムに関し、特に予約受付窓口とホテル等がオンラインで結ばれている予約受付システムに関する。

【0002】

【従来の技術】図 3 (A) は、従来の予約受付窓口から複数のホテル（グループホテル）のいずれかを選択してオンラインにより予約登録するシステムの概念図である。図 3 (A) において、繁華街等に設置した事業所（予約受付窓口）101 からホテル（予約相手先）103 に予約する場合に、事業所 101 からの予約データを集中管理センター 102 に一旦登録した後、該センター 102 は一定時刻に前記予約登録されたホテル 103 に予約データを配信する。該予約データを受信した各ホテル 103 は、受信予約データに基づき予約の登録・変更等を行う。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記従来のシステムでは、図 3 (B) に示すように、事業所 101 から集中管理センター 102 に一旦予約登録 102 a し、各ホテル 103 側は前記センター 102 からの情報を予約受信 103 a した後、手動入力式により自己のホテルのコンピュータに予約登録 103 b しなければならず、システム全体から見ると非常に手間が掛かってい

た。即ち、従来のシステムでは予約に関するデータの二元管理を行い、また手動の処理方式を採用していたので、非常に手間が掛かっていた。

【0004】また、各事業所 101 と各ホテル 103 との間では、事業所からホテルのみへの一方通行のデータ送信であるため、事業所にしてみればホテル毎の予約状況、予約データが確認できず、事業所 101 から電話連絡等の手段によりホテル 103 への確認が必要であった。

10 【0005】そこで本発明の課題は、予約受付窓口と予約相手先との間の予約登録・予約変更・連絡等を行う際に、システム全体の無駄を省いた予約受付システムを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために本発明は、予約に関するデータの入出力を行う端末機と、予約の相手先に設置され、当該相手先における予約に関するデータの予約判断・送受信・登録を含む処理を行う予約判断処理装置と、前記端末機と予約判断処理装置との間に設置され、該端末機と予約判断処理装置との間における予約に関するデータの集配を行う集配信装置とを備えたことを特徴とする。

【0007】このようにすれば、集配信装置を介して端末機と予約判断処理装置とを直結することができるので、予約に関する情報の二元管理が無くなり、また予約判断処理装置が実行した結果が直接端末機に送信されるので、予約受付窓口と予約相手先との間の予約登録・予約変更・連絡等を行う際に、システム全体の無駄を省くことができる。

20 【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の予約受付システムを図示の実施形態例に基づいて説明する。図 1 は本実施形態例の構成図である。

【0009】図 1 に示すように、予約受付システムは、各ホテルに対する予約の登録、予約状況の問い合わせを入力する各事業所（予約受付窓口）1 に配置された入力装置 1 a と、事業所 1 から入力されたデータを対象ホテル（指定されたホテル）に配信すると共に、その対象ホテル 3 からの結果通知を事業所 1 に返信する集中管理センター 2 の集配信装置 2 a と、該集配信装置 2 a から配信されたデータの各種処理を行う各ホテル 3 毎に設置された次に説明する予約判断処理装置 3 A とを備えている。

【0010】前記予約判断処理装置 3 A は、集中管理センター 2 の集配信装置 2 a からのデータを受信する受信装置 3 a と、受信データの確認（検査）、編集、登録を行う登録装置 3 b と、登録結果を送信する送信装置 3 c とを有している。前記登録装置 3 b は、宿泊予約状況問い合わせ用の第 1 登録装置 3 b 1 と、宴会予約状況問い合わせ用の第 2 登録装置 3 b 2 と、個人予約登録用の第

50

3

3 登録装置 3 b 3 と、個人予約変更用の第 4 登録装置 3 b 4 と、団体予約登録用の第 5 登録装置 3 b 5 と、団体予約変更用の第 6 登録装置 3 b 6 とからなる。

【0011】次に、本実施形態例の動作を図 2 のフローチャートに基づいて説明する。グループを構成する各ホテル 3 の予約状況確認、予約登録を行う場合には、事業所 1 の入力装置 1 a より所定の情報入力を行う（ステップ S 1）。前述のようにして入力された情報（ホテルの指定を含む）は、集中管理センター 2 の集配信装置 2 a により、指定されたホテルに設置された予約判断処理装置 3 A に配信される（ステップ S 2）。

【0012】各ホテルに配信された情報は、ホテル 3 の受信装置 3 a により、空き室確認、個人・団体の別、修正の有無、キャンセル等の処理内容が判別され（ステップ S 3）、判別内容に応じて予め設けられているデータ登録装置 3 b に振り分けられる（ステップ S 4）。登録装置 3 b は、前記 6 台の登録装置 3 b 1 ～ 3 b 6 毎にデータの検査（データ自体のフォーマット等）を行い、可否判定を行った上で（ステップ S 5 a ～ 5 f）、その結果を編集し送信装置 3 c に引き渡す。指定期日の空き室の有無等の条件が適合し、当該データの登録が可能な場合には、自ホテルの情報として登録装置 3 b 1 ～ 3 b 6 への正式登録を行う（ステップ S 6 a ～ 6 f）。

【0013】送信装置 3 c は登録装置 3 b から引き渡された前記情報を集中管理センターの集配信装置 2 a に送信し（ステップ S 7）、集配信装置 2 a は、情報入力元である事業所 1 の入力装置 1 a に結果を通知する（ステップ S 8）。

【0014】このようにすれば、事業所 1 から入力されたデータは、即時に各ホテルのマスタ装置（予約判断処理装置）により判定され、その判定結果が事業所 1 に送信されるので、事業所 1 から各ホテルへの確認が不要となり、ホテルでの再入力、修正処理も不要となる。また、ホテル 3 の予約判断処理装置 3 A に検索機能を持たせれば、ホテル 3 に登録された最新予約内容に対し、事業所 1 からの指示による変更処理が実行できるため、ダブルブッキング（二重登録）等のデータの不整合が解消される。

【0015】即ち、本発明によれば、集中管理センターでのデータ管理を廃止し、事業所から入力されたデータを即時に各ホテルに送信し、各ホテルに即時更新および

4

結果送信機能を設けることにより、事業所に対して問い合わせ結果、予約登録の可否等を通知することができるので、データの二元管理および未登録などのデータ登録の無駄、不整合を防止すると共に、電話等による確認等の手間を省くことができる。

【0016】なお、本実施形態例では予約判断処理装置を設置する場所としてホテルの場合を説明したが、例えば病院等の医療施設、滞在型のリゾート施設、コンビニエンスストアの在庫管理等にも本発明を適用できるのは勿論である。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、事業所（予約受付窓口）から入力された情報は、即時に各ホテル（相手先）に送信され、各ホテルのマスタ装置（予約判断処理装置）により判定された結果は入力元の事業所に返信されるので、事業所から各ホテルへの予約状況確認および電話等による予約の登録依頼、確認が不要となる。また、事業所から入力されたデータは、各ホテルのマスタ装置とのチェックが行なわれ、自ホテルでの入力と同一のデータとしての登録が行うことが可能となるので、各ホテルでのデータの入力、変更処理が不要となり、各ホテルでは事業所のデータを再確認する必要がなくなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施形態例の全体構成図である。

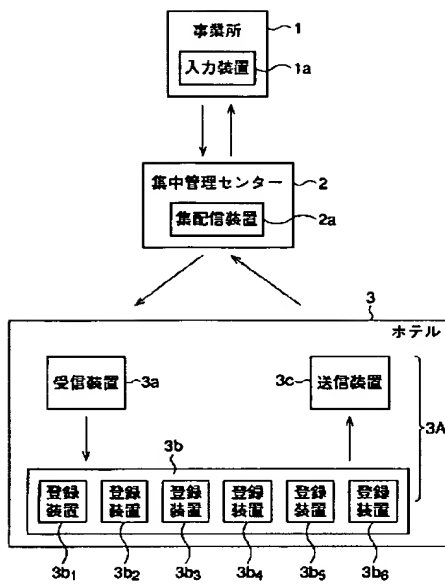
【図 2】同実施形態例の動作を示すフローチャートである。

【図 3】従来のシステムを示す図であって、（A）は概略システム構成図、（B）はシステム構成部署の細部を示す図である。

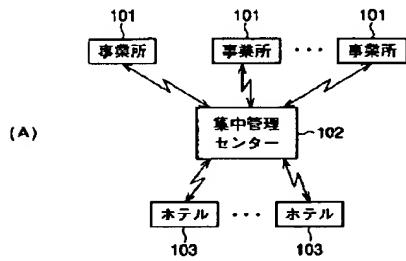
【符号の説明】

- 1 事業所（予約受付窓口）
- 1 a 入力装置
- 2 集中管理センター
- 2 a 集配信装置
- 3 ホテル（相手先）
- 3 A 予約判断処理装置
- 3 a データ受信装置
- 3 b データ登録装置
- 3 c データ送信装置

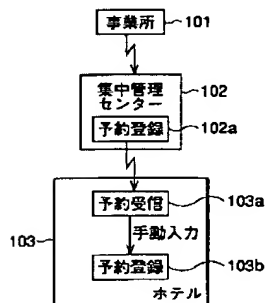
【図 1】



【図 3】



(B)



【図 2】

